

# オーイーエス・マイゴツド

作・小佐部明広

【登場人物】

琴葉（17歳／高校三年生）

まひろ（17歳／高校三年生）

市佳（17歳／高校三年生）

冬也（19歳／琴葉の恋人）

陸（14歳／まひろの弟）

美由希（50代／市佳の母）

イト（80代／美由希の義母）

吉岡（30代／無職）

男（20代後半）

医者

息子

警察

教師

父

男子

死神 1

死神 2

死神 3

舞台には、平台が並べられ、道や部屋などの空間が区切られている高さとは  
ころどころ違っている。

登場人物は、それぞれ場所を占有しており、机やイスなどが置かれたり、学  
校や、部屋、などそれぞれの空間を表している。

舞台には、ゲームをしている男、部屋に引きこもって死神に語りかけている  
男・陸。譜面を書いている冬也。授業中なのか、退屈そうにしながらノートに  
書き取ったり、絵を書いたりしている、琴葉、まひろ、市佳。まひろは、二人  
とは違う方をチラチラみている。

教室。

授業が終わった。

琴葉 まひろ、市佳の近くには、それぞれ死神1、死神2、死神3が黙って立っている。

市佳 起立。礼。着席。

まひろ (ノートを見せて) 似てない？

市佳 板書写せや。

まひろ ポイントは鼻の下のホクロとエラです。

琴葉 まひろってね……、

市佳 ね……、

まひろ なに？

琴葉 男の趣味悪いよね。

市佳 うん。

まひろ おい。

琴葉 自分で描いた絵見てみ。

まひろ めっちゃ似てない？

琴葉 (まひろのノートを持って) じゃあ、私がこの絵見せて、私この人のこと好き、って言ったらどう思う。

まひろ センスないって思う。

琴葉 そろそろ話しかけるよ。

まひろ 話すより、一方的に見てるほうが萌えるだろ。

琴葉 だから彼氏いねえんだよ。

市佳 こいつたぶん30になっても処女だよ。

まひろ 市佳だって板書写していると見せかけて小説まがいのもの書いてるだろ。

市佳 まがいじゃねえわ。

琴葉 いつ見せてくれんの？

市佳 絶対見せない。

まひろ どうせ官能小説だろ。

市佳 ちげーわ。

琴葉 官能小説でも、私は市佳のこと嫌いにならないよ。

まひろ 同じく。

市佳 琴葉はリアル官能小説味わってるから見る必要ないじゃん。

琴葉 うーん、確かになあ。

まひろ ん、それはあたしへのあてつけなのかな。

市佳 そうだよ。

まひろ くそ、おかしい、なんで琴葉なんかには彼氏がいるのに、あ

たしに彼氏がないんだ。

琴葉 ブスだからじゃない？

まひろ もっとやわらかい言い方があるだろうに……。

市佳は笑っている。

一度会話が終わって、窓の外を見ているまひろが喋りだす。

まひろ 吉岡、今なにしてるんだろう。

琴葉 ああ。

市佳 かわいそうだったよね。

琴葉 吉岡は死神がいなくなったっていつか辞めたよ。あの人、教師には向かない。

まひろ やつの落ちぶれっぷり、一度この目で見てみたいな。  
市佳 かわいそう。

病院の診察室。

吉岡と、医師がいる。

死神1、死神2はそれぞれ吉岡と医師の近くに移動する。

医師 今週はどうでしたか？

吉岡 特に変わったところはありませんでした。

医師 眠れていますか。

吉岡 薬さえ飲めば。

医師 食欲は。

吉岡 まあ。

医師 目が充血しているようですが。

吉岡 (いつもと違う質問をされてやや怯えて、小さな声で) ……一日中

ネットばかり見ているからです。

医師 一日に何時間くらい。

吉岡 ……六時間、くらい……。

医師 ほお、……何をそんなに調べているのですか。

吉岡 ……死神について、です。

医師 へえ。その、ネットって例えば、どんなことが書かれているものなんですかね。

吉岡 その、例えば、死神に殺されないための対処法とか、死神に殺される時に、どの程度の苦痛を受けるか、とか。公式発表じゃ毎日100人ずつ殺されてるって言われてるじゃないですか。でも、本当は3年前に死神が現れたときと同じように100万人ず

つ殺されていて。もちろんなにが本当でなにが嘘なのかなんて、わからないんですが、でも、ひとつだけ、ほとんどのサイトに共通して書かれていることがあって。……どうやら、「悪いことをする」と殺されるらしいんです。

医師は、吉岡が話しているあいだ、「へえ」とか「ほお」とか相づちを打っている。

吉岡は、ことの重大さを医師に理解してもらえていると思えず、さらに必死に話していく。

吉岡 ですから、私は毎日毎日不安で仕方がないんです。以前コンビニで、手が滑って商品のおにぎりを落としてしまったことがあって、ああまずい死神に殺されると思って、しばらくその場から動けませんでした。歩いていて人に肩がぶつかるとか、道を聞かれたときにうまく答えられないとか、いちいち死神に殺されるのではないかとビクビクしているんです。ですから、こうやって病院に来ることすら、私には苦痛なんです。

医師は、相変わらず相づちを打ち、カルテにサラサラと書き込んでいく。

医師 で、二年前と比べて多少は不安は和らぎましたか？

吉岡 (自分の苦痛を理解してもらえない、と落胆しつつ) ……あまり変わらないように思います。

医師 (少し考え) 薬の種類を一つだけ、変えてみましょうか。

吉岡 ……ええ。

まひろの家。

琴葉、まひろ、市佳がいる。

死神たちは、彼女らのもとへ移動する。

まひろ 僕アね、35歳で総理大臣になる。

琴葉 へえー。

まひろ だいたい、不公平だと思わないかキミたち。どうして子供は親を選べないのか。生まれた時点でスタートラインが違いすぎる。だから僕が総理大臣になったら、子供が親を選べる仕組みを作ることを公約します。

市佳 それ、どんな仕組み？

まひろ そういう難しいことは官僚どもに任せる。そして優秀で手のかからない子供を僕が引き取る。あと、多数決の暴力で、僕の理想の男を全国から集めて結婚相手を探せる法律も作ります。結婚したい。身長高くて優しく浮気しなくて包容力あるけど時折いじわるな面を見せつつ僕が浮気しても笑って許してくれる男と結婚したい。

琴葉 現実に帰ってこいよブス。

まひろ うっせえ、ブスが夢見るのは罪か。犯罪なのか。どうせ好きな人に声もかけられない万年処女だよあたしは。(ふてくされて背を向けて寝転がる)

市佳 今日、進路の調査票配られたじゃん。

琴葉 ああ、うん。

市佳 琴葉はどうするか決まってんの？

琴葉 ね。

市佳 ね。って。

琴葉 たぶんふつうに大学行くんだらうけど。でも、なんにもイメージできないんだよね。将来のこと。

市佳 でも親は別になにしてもって感じなんですよ。

琴葉 まあ。

市佳 いいな琴葉んところは。あたしは大学行かせてもらえないから。

まひろ 絶縁しちゃえそんな家族。

市佳 はい総理！ 私さっきの総理のマニフェストに賛成します！

まひろ お、本当かね市佳くん。よし、キミをなんかの大臣に任命してあげよう。

市佳 わーい、なんかの大臣だー。

琴葉 じゃあ、市佳は就職すんの？

市佳 まあ、そうかな。

まひろ 官能小説家になればいいんじゃないかな。昼はふつうの会社員。しかしそれは彼女の表の顔に過ぎない。夜になると裏の顔が現れる。全米のイチモツがたった。官能小説家・市佳、カミングスーン。

市佳 おい、お前とゴリラの濃厚なベッドシーン書くぞ。

まひろ わー嘘です。どんなブサイクでもいいからせて人間に……。

リビングで、陸がブツブツと独り言を言っているのが聞こえてくる。

陸 松田、いじめられてるらしいぜ。懐かしなあ……実際は弱虫なくせに悪ぶって、威張ってた。……弱虫なのがバレたんだよ。バカみたいだ。

陸、その後もブツブツと同級生の悪口を口にしている。

まひろ 中学入ってから学校行ってねーんだよ。小学校で散々いじめられてたらしくて。ブツブツブツブツ気持ちわる。

琴葉 まあ。

市佳 ま、ま。

と、二人はなんとなく話を流す。

まひろ あ、そういえば、

市佳 ？

琴葉 どうしたの？

まひろ 最近、死神が消えることがある。

琴葉と市佳は顔を見合わせる。

市佳 ……それ、なんかやばいんじゃない？

まひろ え、そうなの？

市佳 なんか、いろいろ噂あるっぽいし、

まひろ なに噂って。

市佳 死神が消えた人が、その数日後に死んだとか……。

琴葉 ガセでしょ。

市佳 わかんないけど。

琴葉 だとしても偶然だよ。みんな死神のこと気にしすぎ。死神に殺される確率なんて交通事故で死ぬよりもずっと低いんだから。

市佳 でも、死神が見えるせいで精神を病む人もいるからね。

琴葉 どっち道、人はいつか死ぬんだから。

市佳 まあ、なかなか割り切って考えられないでしょ。

琴葉 ふつう割り切れるでしょ。

寝転がっていたまひろが割って入る。

まひろ なんだかんだあたしたちは死なないよ。明日もいつも通り学校に行って、またあたしん家に来て、あたしらはくだらん話で暇を潰して飯食って寝るんだよ。どうせ明日もあたしらは死なない。そんなもんだよ。

誰も、反論しない。

なんとなく生まれる沈黙。

市佳 3年前か。

まひろ なに？

市佳 死神。

まひろ ああ。

市佳 世界終わるかと思った。毎日100万人近く殺されてるってきいてたし。

まひろ 今じゃ世界でたった100人だからね。

市佳 見たことある？ 死神に殺された人。

まひろ ない。

市佳 うちのおじいちゃん、朝起きたら、冷たくなって、肩に青いアザができてた。

沈黙。

市佳 うっそー。

まひろ は？ ふざけんよお前！ 一生懸命リアクション考え  
ちやっただじゃねーか！

市佳、笑っている。

琴葉が、ふと窓の方に目をやる。

琴葉 あの家、いつつもカーテン閉まつてるね。

まひろ なんか、20代の男の人がいるらしいんだけど、一回も見  
たことない。

市佳 へえー。

引きこもりの男の部屋。

男はテレビゲームをしている。

死神3が、男のもとへ移動する。

男 消えてなくなるんなら、みんな死神に殺されちまえばいいのに。

画面の中にある仮想の街。男はビルで空間を埋めていく。

男 そもそも人間なんて生まれてこなければよかったんだ。こんな  
クズみたいな世界、なくなっちまえばいい。

まひろたちの笑い声が聞こえる。

男 うっせーな。なにがそんなに楽しいんだか。……お前らも死神  
に殺されていなくなっちまえばいいのに。みんな消えちまえ。

男がコントローラを操作すると、画面のなかから爆発音や悲鳴がきこえる。

吉岡の家。

吉岡と、その息子がいる。

死神1、死神2が二人のもとへ移動する。

つけっぱなしのテレビの音が聞こえている。

吉岡 悪いな、散らかってて。

息子 ううん。

吉岡 母さん、元気か？

息子 まあまあ。テレビつけっぱなし。

吉岡 あ、ああ。

吉岡、ふと、息子の死神が目に入る。

吉岡 あ、ああ！ ああ！

吉岡、飛び退いて転ぶ。

吉岡 ああ、ああ、

息子 なにがそんなに怖いんだよ。

吉岡 ……怖いことが、怖い。

息子 ……そろそろさあ、やめたら？ そういうの。怖がったところでも解決しないだろ。

吉岡は、体を動かさないようにしながら、目線だけやって息子を見ている。そして、すぐに目をそらす。

息子 死神に殺されたら、そのあとはどこに行くと思う？

吉岡 ……地獄？

息子 どこにも行かないんだってよ。

吉岡 ……。

息子 死神に殺されると、その魂はどこにも行かずに、消えてなくなるんだって。

吉岡、どこか呆然とした態度で息子の目を食い入るように見ている。テレビから音声がきこえてくる。

息子 ショッピングモールで露出狂だって。バカじゃないのかね、こんなんで人生棒にふって。

まひろの家のリビング。

死神3が陸のもとにいる。

陸が死神3に語りかけている。

陸 あいつら、親としての自覚がないんだよ。ふつう、こんな遅い時間まで子供ほっとかないだろ。てめえで産んでおいて、てめえ

で責任とらないんだから、ほんと無責任なやつらだよ。それだからこんな子供になるんだよ。なあ、そう思うだろう？

死神はなにも反応しない。

陸 あいつらまだ居座ってんのかな。うざいんだよな。なんの生産性もない話してバカみたいに笑って。なあ、殺してくれよ。お前らなら簡単に殺せるんだろう。

死神はなにも反応しない。

陸 ……みんなこうやって黙ってくれればいいのに。僕は人間はうるさいから嫌いなんだ。

まひろが近づいてくるのがわかり、陸は死神に語りかけるのをやめる。まひろが入ってくる。死神2とともに。

陸 ノックしてから入ってこいよ。

まひろ リビング入るのにわざわざノックするバカがどこにいますよバカ。

陸 あいつら帰ったの？

まひろ 帰ったよ。

まひろ、台所へ向かいながら、

まひろ なんか食った？



陸 食ったよ。

まひろ 死神なんかと飯食って楽しいかよ。

陸 少なくとも姉ちゃんとは食べるよりは。

まひろ いい加減死神と会話すんのやめるよ、気持ち悪い。テレビに話しかけてるババアと同じだぞ、それ。

陸 うざ。

まひろ 死神出現する前の方がまだ可愛げあったもんを……人間と話してるときより死神と話してるときの方が楽しそうだよな、お前。学校行って人間と会話してこいや。

陸、無視して返答しない。

市佳の家。

市佳が死神3とともに入ってくる。

市佳の母・美由希は床に頭をつけ、お経のようなものを唱えている。近くには死神2。

市佳 ただいま。

美由希は見向きもせず、ひたすらにお経のようなものを唱えている。

奥の方に祖母のイトが背中を丸めて、正座をして何かを書いている。死神1がいる。

市佳 ただいま。

イトはゆっくりと振り返り、それが市佳であることがわかる。

イト お帰りなさい。

イトは市佳に笑みを向けたあと、ゆっくりと書く作業に戻る。

市佳 また書いてるの？

イト ……いつ死ぬかわからないでしょう。

市佳、空虚な目で自分の部屋へ向かう。しばらくぼーとし、ノートを取り出し、読む。

市佳 ……換気扇の音が鳴っている。そのことに気づいて女が時計に目をやると、一時間が経っていた。ふと、死神の顔が見えた。

と、思ったが、鏡に映った自分の顔だった。女は、母と祖母の三人で暮らしていた。女の母は、よくわからないお札や、よくわからない数珠を買うために、単身赴任している父が貯めてきた貯金を切り崩している。なるべく家にいたくない女は、親友Kとともに、親友Mの家に夜遅くまでいることが日課になっていた。女の祖母は毎日、遺書を書くようになっていた。

冬也の家。

冬也が寝息を立てている。近くには死神2がいる。

あたりには紙が散らばっている。

琴葉と、死神1がやってくる。

琴葉は、紙には触れず、部屋の隅に体育座りをして本を読み始める。

少しして、冬也がうつすらと目を開ける。そのまましばらく動かずにどこか

を眺めていた冬也だったが、琴葉が目に入ると、少し驚いて体を動かす。

琴葉 もうお昼だよ。

冬也 うん、……あ、

琴葉 なに？

冬也 ……お腹すいた。

琴葉、買っておいたおにぎりを渡す。

冬也 ありがとう。

琴葉も、おにぎりを食べる。

冬也 うまつ。

琴葉 よかった。

二人は、しばらくおにぎりを食べている。

琴葉 ……冬也はさ、これからどうしていくの？ 具体的に。

冬也は不思議そうな顔をするが、少し考えて、

冬也 俺は今までと同じように、歌を歌って、生きてくよ。

琴葉は納得いかない様子だが、冬也は構わずおにぎりを食べる。

琴葉 私、なんにも決まってるじゃない。

冬也は綺麗な瞳で、まっすぐに琴葉を見ている。

琴葉 私、最近、自分はやちゃんと考えてるようで本当はなんにも考えてないんじゃないかって思うんだ。市佳よりまひろより、私のほうが冷静に考えられるって思ってたけど、本当はふたりの方が、ずっと大人で、私は今すごく、子供じゃないかって。

冬也はしばらく、琴葉の目を見て、なにか考えている。

冬也 ……子供じゃいけないかな。

琴葉 ……え？

冬也 市佳ちゃんは大人だよ。琴葉よりずっと。でも、子供のなにが悪いんだ？ 現実を受け入れて冷静になって、妥協したり諦めたりすることが大人になることだとしたら、大人になる必要なんかない。それと、……まひろちゃんは、バカだから気にしなくていい。

琴葉 ……冬也、私は冬也みたいに強くないんだ。だからすぐに理屈を並べて、冷静でいるフリをする。

冬也 それがわかってるなら琴葉は正しいよ。素直で、賢くて、正しい。子供でも弱くても、俺はそんな琴葉が好きなんだ。……それじゃあ、ダメかな。

琴葉、ほんの少し息を漏らして笑う。

冬也 琴葉、「世界の果て」って場所、知ってる？

琴葉、首を横に振る。

冬也 その「世界の果て」は、見渡す限りどこまでも崖なんだ。雲が一面に広がってるんだよ。自分の下に。

琴葉 すごいね。

冬也 いつか二人で行ってみようよ。いつになるかわからないけど。

琴葉、大きく頷く。

冬也は音楽プレーヤーを出してきて、

冬也 なんかきくか。

琴葉 なに。

冬也、選曲して、音楽をかける。

琴葉 好きだね、この人の曲。

冬也 憧れてるんだ、この人の生き方に。

琴葉 もう死んじやったけど。

冬也 生きてるよ。俺の中では。俺もそうやって死んだあとも誰かの中で生きられればいいな。

琴葉 できるよ、冬也なら。

途中から琴葉が歌いだし、冬也も一緒に歌う。

2

高校への道。

琴葉と市佳、死神1と死神3が歩いてくる。

まひろが合流する。

まひろは髪を染めている。

まひろ おはよー。

琴葉 あれ。

市佳 え、どうしたの。

まひろ なにが？

市佳 なにがじゃなくて。

琴葉 髪。

まひろ 自毛だよ。

市佳 無理あるだろ。

琴葉 ほんとにどうしたの？

まひろ ドラッグストアでヘアカラー買った。

琴葉 そりゃあ、うん。

まひろ キミたち騒ぎ過ぎだ。今この瞬間も世界のいたるところで死人が出てるんだぞ。それに比べれば私の髪染めなんて取るに足らない、

市佳 っつか、え？ え？

琴葉 なに？

市佳 死神、

琴葉 え、

琴葉と市佳は、まひろの近くに死神がいないことに気が付く。

まひろ あ、いない。

市佳 え、やばくない？ なんともない？

まひろ あ、く、し、心臓が……、

市佳 え、え、

まひろ うそぴょーん。

琴葉 いっそ死ねよ。

まひろ だから、たまにあるんだよ。あ、もしかしてあたし、臭いかな。臭くて死神が逃げてるのかな。だとしたらあたし、シヨック死するよ。

奥から叫び声が聞こえる。

全裸の上にコート一枚を羽織った吉岡が現れる。

吉岡 うああ！

吉岡、コートを広げ、三人に自分の裸体を見せる。

沈黙。

まひろ ……よしおかじゃん。

吉岡 え？ (自分の生徒だと気づいて) あ、お、お前ら！ ああ！

警察が現れて、吉岡を取り押さえる。

吉岡、なにか叫びながら連行されていく。

しばらく、連れ去られている吉岡を見る三人。

まひろ ……あーあ、

いつのまにか、まひろのうしろには死神2がいる。

琴葉 (死神2がいるのに気づいて) あ。

まひろ (死神2に) よ。

市佳の家。

美由希と死神2がいる。

美由希がスマートフォンでニュースを見ている。

ニュースのひとつを見て、怯え始める。

美由希 あ、ああ……、お義母さん、お義母さん！ 死んだわよ！

サイトウタキジが死んだわよ！ お義母さん！ ああ、ああ、鎮

めないと……。死神様の怒りを鎮めないと……。

美由希、奥の方へ向かっていく。

学校。

琴葉と市佳、死神1と死神3がいる。

ご機嫌なまひろと死神2がやってくる。

市佳 あ、どこ行ったのかと思ったら。

琴葉 どうせその辺で髪染めたの怒られてたんだろ。

まひろ 朝起きたら色落ちてました、で突き通してるよ。

市佳 カフカかよ。

まひろ なにそれ。マシユマロみたいなお菓子かよ。

市佳 ちげーわ。

琴葉 なんかいことあったの？

まひろ え？ なんで？

市佳 ニヤニヤし過ぎだろ。

まひろ 普段からこういう顔してるでしょ。

琴葉 普段はもつとブスだよ。

市佳 なんかつたでしょ？

まひろ どうかな。

市佳 この前盗撮したまひろのすげえブスな寝顔ツイッターにあ

げていい？

まひろ どうしてそうやって僕ばかりいじめるんだい。

市佳 (画像見せる) これ。

まひろ うわ。

琴葉 やば。

まひろ これアップしたら名誉毀損で訴えるよ。

市佳 教えてよ。

まひろ え。

琴葉 送信しな。

市佳 はい。

まひろ あーわかりました、言いますから。

琴葉 はじめから言えよ。

まひろ ……実は、

と言ったきり、恥ずかしいのか、言えない。

琴葉 なに。

市佳 早く。

まひろ ……実は、さっき田中くんと話しちゃいましたっ。

琴葉と市佳、顔を見合わせる。

琴葉 そんだけ？

まひろ そんだけって、大事件だろうが。お前ら、例えばイケメン

俳優と生で話したら興奮するだろ！ 鼻の穴広げて、ハアハアす

るだろ！

琴葉 田中、イケメン俳優じゃないじゃん。

市佳 そんな、エラボクロと話しただけで。

まひろ おい、誰だエラボクロって。

市佳 田中だろ。

まひろ え、エラボクロ？ ひどくない？

市佳 だって特徴エラとホクロくらいしかないじゃん。

まひろ そこがほどよくエロくていいんじゃないか。

琴葉 やっぱセンスないなまひろは。

まひろ いいもん。お前らより幸せになるもん。お前らはどうせ微妙な顔の万年係長と結婚して、微妙な人生送るんだ！ あたしは金持ちと結婚して毎日旅行してフォアグラ食ってやる！ 食ってやるからな！

琴葉・市佳 頑張っつ。

市佳の家。

美由希と死神2がいる。

美由希は不安げに、いらだちながらウロウロしている。  
市佳と死神3が帰ってくる。

市佳 ただいま。

美由希 あんた、サイトウが死んだよ！

市佳 え、だれ？

美由希 サイトウタキジ！

市佳 サイトウタキジ……？

美由希 ほら俳優の！ この前なんとかいう、死神様を冒流したよ  
うな映画に出てたでしょう！

市佳 あ……、

美由希 (スマートフォンを出して) 見てこれ！ 肩に青いアザ、死

神様に殺されたのよ！ 死神様の怒りを買ったんだわ……。やっ  
ぱりそうなのよ、死神様を敬わない人間は死神様に殺されるのよ

……。いい、死神様の怒りを鎮めるのよ。

市佳 ……。

美由希 ……市佳、今日から断食よ。

市佳 ……また……？

美由希 あなたたちが守らないと、私たち全員粛清されるのよ。わ  
かった？ 冷蔵庫の中身全部捨てたからね。もう今日はとつとと  
寝なさい。

美由希は奥へ行ってしまふ。

市佳は自分の部屋に入る。

市佳は小説を書く。

市佳 ……死神は女を見ていた。見ていた、というより、あの日か  
らずっと見ている。女はなんとなく、なるべく手間がかからず、  
なるべく簡単に母を殺す方法をネットで調べてみたが、どうせ自  
分には実行できないだろうと思った。女は、食事は外食で済ませ  
ることにして、家に帰らないことにした。ある日、断食を強要さ  
れていた女の祖母は、不調を訴え病院に運ばれていった。その日  
から、祖母は入院することになった。

冬也の家。

冬也は寝息を立てている。近くには死神2がいる。

相変わらずあたりには紙が散らばっている。

琴葉と、死神1がやってくる。

琴葉は隅の方でスマートフォンをいじっている。

冬也が目覚めます。

琴葉 おはよう。

冬也 ……うん、おはよう。

琴葉 痩せた？

冬也 どうだろう。

琴葉 おにぎり。

冬也 うん。

琴葉と冬也はおにぎりを食べる。

冬也 新曲ができたんだ。

琴葉 ほんと？

冬也 うん、自信作。

琴葉 きかせてよ。

冬也 まだきかせない。

琴葉 えー。いじわる。

冬也 いじわるじゃないよ。

琴葉 どんな歌？

冬也 琴葉のこと考えながら書いた曲。

琴葉 え。

冬也 ……うそだよ。

琴葉 えどっち？

冬也 本当。だから恥ずかしくてきかせられない。

琴葉 なにそれ。…余計ききたくなっちゃうじゃん。

冬也 いつかね。

琴葉 (つまらなさそうに) うん。

おにぎりをたべる二人。

冬也 噂なんだけど、

琴葉 なに。

冬也 今度、レコード会社の人ライブ見に来てくれるらしくって。

琴葉 え、すごいじゃん！

冬也 でも、噂だよ噂。それに、本当に見に来てくれたとしても、

それだけでどうっていうことでもないし。

琴葉 でも、もしその人が気に入ってくれたら、メジャーデビュー

できるんじゃないの？

冬也 メジャーデビューって、そんなすぐできるもんじゃない

んだよ。実績があるわけでもないし。何年もかけて、ひと握りの人だけが叶えられる夢なんだから。

琴葉 冬也ならできるよ。

冬也 俺よりすごい人はたくさんいる。

琴葉 冬也が売れたら旅行いこうよ。

冬也 売れたらね。

琴葉 売れるよ。

冬也 じゃあまひろちゃんと市佳ちゃんも連れてね。

琴葉 二人じゃないの。

冬也 恥ずかしいよ。

琴葉 私はずっと冬也についてくよ。

冬也 ……そう。

琴葉 まひろ、金持ちと結婚して毎日旅行してフオアグラ食べるんだって。

冬也 ふうん。

琴葉 私たちは？

冬也 そういうのは、売れてから考えればいいことだよ。いつにな

るかわからない。

琴葉 冬也、

冬也 なに？

琴葉 私、いつまでも待つよ。

冬也 ありがとう。

教室。

市佳と死神3がいる。

琴葉と死神1がいる。

市佳 その日の教室は浮わっていた。担任がせわしなく廊下を駆ける、パタパタという足音が何度か響き、耳についた。授業のチャイムが鳴ってしばらくしても、女の親友Mが姿を現さなかったのだ。生徒たちは、授業中そわそわとして落ち着かなかったが、親友Kはなぜか、そんな教室の空気に乗る気になれなかったようだった。昼休みになってもMは現れなかった。女は昼食を食べている間じゅう、なぜかそうしなげらばならないと思い、Kとは一言も話さなかった。帰りのホームルームの時間になってもMは現れなかった。担任が教卓の前に立った時、教室の空気が一瞬、張り詰めたように感じられた。その後のことは、今となってはうまく思い出せない。

教師と死神2が現れている。

教師 ……えーと、

琴葉と市佳は、教師の方を見ずに黙っている。

教師 山野まひろなんですが、……今朝、車にひかれたそうで、……すぐに病院に搬送されたらしいんですが、……その、……残念ながら、……さきほど息を引き取ったそうです。

やがて教師と死神2は去っていく。

しばらくして、市佳が言葉をかける。

市佳 ……行くか。

琴葉 ……うん。

少しして琴葉と市佳はゆっくりと歩いていく。

帰り道。

二人はしばらく黙っている。

琴葉 ……あ、

まひろの家が見える。

琴葉 ……ねえ、今日、どこ行こっか。

※無料版はここまでです。ご覧くださりありがとうございます。  
全編はクラアク芸術堂の販売ページ(左のURL)から購入できます。ありがとうございます。

<http://www.clark-artcompany.com/public>



## あとがき

人はいつか死にます。場合によってはいきなり死にます。いい人だろうと悪い人だろうと等しく死にます。ただもちろん、僕も含め多くの人は、いちいち、ああいつか死ぬんだと常に考えているわけではありません。そしてこの世界で、死んだらどうなるのかを体験して知っている人はいません。この作品中に出てくる人々は、きっと僕らよりも、その「いつか死ぬ」「いきなり死ぬかもしれない」ということを強く意識せざるをえない世界に住んでいます。世界の人が、死神に毎日100人ずつ殺される世界。そういう世界では、生きることへの虚無感が漂ったり、拭えない閉塞感が漂うかもしれません。もちろんこの作品はフィクションとして書いていますが、しかし死神が見えること以外は僕らの住む世界と変わりありません。もしかしたら僕らの住む世界にも死神はいて、ただ僕たちには見えていないだけなのかもしれません。この作品の世界も、僕らの住む世界も、人が「いつか死ぬ」こと、「いきなり死ぬかもしれない」ことは共通です。そのことはみんな知っています。でも僕たちは、いずれ死ぬとわかっていても生きていきます。いやいや生きていく人もいれば、楽しく生きていく人もいます。生きる意味なんでものは自分で見繕えばいい。やはり僕は、同じ生きるなら楽しく生きていきたいです。

もうひとつ、この作品では思春期のあのわけのわからなさを表現できればと思いました。自分でも自分の気持ちがよくわからない、自分がなにをしたのかわからない、漠然となにか変わりたいと思う、なにが原因かわからないけど漠然とした不安がある。今はゆとり世代とかさとり世代とか言われてもつと上の世代からみればわけのわからない世代かもしれないですが、きっと僕たちは、同じように不安や苛立ちを抱えているし、同じように怒りを感じたりしています。

2016年4月25日(月) 小佐部明広

## 《上演記録》

遊戯祭16 劇団アトリエ『オーイエス・マイゴッド』

### 【キャスト】

琴葉	大谷早生 (劇団ロクデナシ/劇団うみねこ)
まひろ	新谷菜摘
市佳	橋場美咲 (ゆりいか演劇塾)
冬也	有田哲 (劇団アトリエ)
陸	山口健太 (箱人会議)
美由希	小林なるみ (劇団回帰線)
イト	青木玖璃子 (S5)
吉岡	伊達昌俊 (劇団アトリエ)
男	若月篤 (ゆりいか演劇塾)
医者/息子/警察/教師/父/男子	長枝航輝 (劇団うみねこ/ゆりいか演劇塾)
死神1	種田基希 (北星学園大学演劇サークル)
死神2	高橋寿樹 (ゆりいか演劇塾)
死神3	田邊幸代 (北海学園大学演劇研究会/ゆりいか演劇塾)

### 【スタッフ】

演出・脚本	小佐部明広
舞台監督	高橋詳幸 (アクトコール株式会社)
舞台	米沢春花
照明	高橋正和
音響	小佐部明広
衣装	佐々木青
小道具	田邊幸代 (北海学園大学演劇研究会/ゆりいか演劇塾)

脚本アシスト ヤヨイ（ゆりいか演劇塾）  
制作 山木真綾

【日程】

2016年4月28日（木） 20時  
29日（金） 15時半  
30日（土） 11時

【場所】

生活支援型文化施設コンカリーニョ

【料金】

一般前売 2000円  
学生前売 1500円  
当日券各500円増し

※実際の上演内容と一部異なる場合があります。ご了承ください。

2016年4月28日 第1刷制作

2017年10月4日 第2刷制作

《『オーイエス・マイゴッド』の上演について》

「一般前売入場料2000円未満」または「公演予算100万円以下」の  
場合は、脚本使用料は**無料**です。それ以外の場合は、協議の上、総予算の  
3%程度を脚本使用料とします。上演のお問い合わせはクラアク芸術堂企画  
運営委員会まで。

【クラアク芸術堂企画運営委員会】  
clark.artcompany@gmail.com